

報告 教1

全 員 協 議 会 資 料
平成31年(2019)1月18日
教育委員会教育部学校給食課

学校給食における異物混入防止対策について

対 策	内 容	概 算 経 費	実 施 時 期
1 製造加工工場への調査の実施	(1)自社調査(宮崎県内の製造加工工場) ①金属探知機作動試験⇒正常 ②工場内施設機器の不具合なし。 ③他に同様の苦情なし。 ④金属探知機実施の記録有り。 (作動中に自動計測・記録) (2)公的機関(宮崎県都城保健所)による行政検査。 立入調査の結果、施設・設備等に異常はなく、このたびの金属異物の混入の可能性は、極めて低いとの回答有り。		(1)平成30年 12月25日実施 (2)平成31年 1月8日実施
2 市内全給食センター総点検の実施	①冬休み期間中を利用して、通常の点検項目に加え、さらに入念な総点検を実施する。 ②出雲・平田・斐川の3センターにおいて、3学期給食開始までに保健所の検査を受け、安全性を確認する。 ③今後の長期休業中も同様の総点検を実施する。		①平成30年12月 25日～31年1月 7日実施 ②平成31年 1月7日～ 1月8日実施 ③春休みから実施
3 異物混入の防止対策チームによる調査・点検の実施	①学識経験者、保健所及び安全衛生管理スキルの高い民間の食品会社等で構成する対策チームを結成する。 ②会合・打合せ及び調査点検を行う。施設の点検のみならず、作業及び調理工程も含めた点検を実施する。		①平成31年1月末までに実施 ②平成31年2月末までに実施
4 金属探知機の導入及び業務確認用カメラの設置	① 金属探知機の設置 3センター(出雲・平田・斐川)で2台ずつ、計6台の金属探知機を設置する。 ② 施設改修 3センターに金属探知機設置スペースを確保する。	① 15,000千円 ② 9,000千円	①② 平成30年度中に整備

対 策	内 容	概 算 経 費	実 施 時 期
4 金属探知機 の導入及び 業務確認用 カメラの設 置	<p>③ハンディ金属探知機の導入 ※出雲5台、平田4台、斐川2台 佐田1台、多伎1台、湖陵1台 計14台 ※粘着テープローラー掛けと同様に、調理作業 に入る前に、体に付着した異物チェックが目 的。</p> <p>④業務確認用カメラの設置 調理作業工程で、安全・衛生面において問題が なかったかを事後に確認するのが目的。 ※出雲8台、平田8台、斐川5台 計21台</p>	<p>③ 700 千円</p> <p>④ 6,300 千円</p>	<p>③速やかに導入</p> <p>④平成31年度夏季 休業中に設置</p>
5 調理工程、献 立の見直し 及び目視チ ェックの強 化	<p>①異物混入防止対策として、冷凍野菜の洗浄と異 物確認を徹底し、業務に必要な調理員を増員す る。</p> <p>②混入リスクの低い食材及び献立を検討する。</p> <p>③出来上がった副食を配缶中に一度チェックし、 ふたをする直前に、別の者が再度チェックす る。</p> <p>④ヒヤリハット事例について、その報告様式を出 来るだけ簡便なものに改めることにより、報告 し易い環境を作る。その事例を積み重ねること で危険予知の強化を図る。</p>	<p>① 経費調整中</p>	<p>①～④ 3学期給食から実 施</p>
6 職員一人一 人の安全衛 生管理意識 の強化	<p>①現在、夏休み期間中に全職員を対象に実施して いる衛生管理研修会に加え、異物混入を主体と したテーマで職員研修会を開催する。</p> <p>②軽微なものも含めて異物混入の月々の状況を、 全給食センターの職員で情報共有し注意喚起 することで、安全衛生管理意識の徹底を図る。</p>		<p>①平成30年度は、 春休み中に開催</p> <p>②3学期給食から 実施</p>
7 学校・園での 異物混入対 策の徹底	<p>平成26年9月に、各学校・園に対して、教育 委員会から学校給食における安全管理のための 指針を作成・周知している。改めてこの指針を徹 底して頂くようお願いする。</p>		<p>平成31年1月8日 通知済</p>